

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はまなす（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和7年2月24日		～	令和7年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	3名
○従業員評価実施期間	令和7年2月24日		～	令和7年3月7日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども達が楽しく安心して通える環境づくり	こどもの特性に合わせて、活動や過ごし方を提供している 場面に合わせて、リハ室や多目的コーナー、ミライエ（地域交流スペース）など活動の場を広く提供している	5領域（「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」）を意識した支援をする
2	非常時等の対応や体制づくり	発作等が起きた場合に備えて、保護者、学校とも足並みをそろえてのマニュアルを作成している 虐待防止委員会を中心とした定期的な研修や毎週月曜日に虐待防止スローガンの読み合わせを実施している	服薬変更があった場合など、速やかにお薬情報を共有できるようにする 避難訓練などの非常時対応の訓練にできる限り子供も参加する機会を設ける

3	多機能型事業所であることと入所施設が隣接していること	多機能型事業所のため、こどもが同年代だけでなく、大人たちと一緒にレクリエーションなどを行う機会を提供している 短期入所する場合などスムーズに移行できるよう支援できる	段階的に日中一時や短期入所などに移行できるよう、日頃から、こどもが色々な職員などと交流できるよう支援する
---	----------------------------	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動支援や保護者会などの開催ができていない	感染症の拡大等があり、「集まる」ことに消極的になってしまう 日頃より丁寧に情報共有するよう努めているので、周囲の感染症流行に対して、先送りにしてしまっている	小さな集まりから考える 個別面談や保護者の行事参加など検討し、実施する
2	職員の支援等に対する体制づくり	支援やお迎えの時間帯が集中してしまうことがある 保護者、職員とも、職員数に対する評価が低い こどもに対応できる職員が少ない	支援が重なる時間帯での職員の連携を見直す 日誌、連絡帳等の記録についての効率化と活用法を検討する 児童に対する研修等実施する
3	地域との交流が少ない	支援学校からの往復が1時間もかかるため、日頃の放課後の利用時間では、地域交流の場を設けられない	長期休みの場合など、地域ボランティアの活用や地域のこども達との交流の場を企画提供できるよう取り組む